

平成 29 年度 環境事業報告書

環境を守り育てるまち しずくいし



岩手県雫石町

も く じ

環境基本計画の推進	1
環境推進会議を開催	3
太陽光発電設備等の維持管理	4
クリーンエネルギー導入者への補助	5
町民環境講座を開催	6
女性団体連絡協議会と環境を考える会を開催	9
小学生の水生生物調査	10
環境展（しずくいし産業まつり）	11
集団資源回収の奨励	12
ごみ集積所設置への補助・生ごみ処理機等への補助	13
御所湖の清掃活動	14
保育施設での環境学習・図書館環境企画展	15
小学生の環境学習	16
中学生の国道清掃・花と緑のまちづくり	17
資源回収拠点の設置	18
電気自動車充電器の維持管理・放射線量・放射線物質の測定	19
油漏れ事故の対応・不法投棄	20
狂犬病予防集合注射・オオハンゴンソウの駆除	21

環境基本計画の推進

基本目標 1

健康で安全に暮らせるまちをめざして

生活環境の保全

基本目標 2

豊かな自然と共にいきるまちをめざして

自然環境の保全

基本目標 3

うるおいのあるまちをめざして

快適環境の保全と創造

基本目標 4

環境負荷の少ないまちをめざして

循環型社会の構築

基本目標 5

環境への意識の高いまちをめざして

環境保全の取り組み



環境基本計画の推進

雫石町環境基本計画の実現に向けて取り組むこととし、平成28年度環境報告書、再生可能エネルギー事業の適正な促進に関する条例、一般廃棄物処理計画等の策定のため環境審議会を開催しました。

第1回環境審議会（平成29年7月25日）



第2回環境審議会（平成29年10月30日）



第3回環境審議会（平成30年2月2日）



環境推進会議を開催

町の環境保全及び地域の再生可能エネルギー事業の適正な促進に関する条例（素案）をテーマに、地域の生活環境保全や再生可能エネルギーの活用についてご意見をいただきました。



第1回環境推進会議（平成29年6月21日）



第2回環境推進会議（平成29年8月24日）

推進委員から寄せられた意見

- 町の中心道路の脇に生ごみを置いている地域があります。カラスの集中を受けて大変なことになっています。町の指導をお願いしたいです。
- 環境保全条例の中に景観の保護の項目を加えることが必要ではないか。大型の風力発電機やメガソーラーは著しく景観を損ねていると感じています。
- 環境保全条例は今後とも検討していかなければならないと思います。再生可能エネルギーに関してはいろいろ勉強していきたいし、町のあった形を作っていきたいと思います。

太陽光発電設備等の維持管理

町では防災拠点となる役場庁舎等の太陽光発電設備等の維持管理を行いました。太陽光発電設備等の導入により電気料金の削減が期待できるほか、災害などが発生した場合、対策本部や避難所として機能するために必要な電力を供給することができます。



平成25年度設置実績		平成26年度設置実績		平成27年度設置実績	
役場庁舎	太陽光発電 20kw 蓄電池 15.4kwh	中央公民館	太陽光発電 15kw 蓄電池 15kwh	御明神公民館	太陽光発電 10kw 蓄電池 10kwh
御所公民館	太陽光発電 10kw 蓄電池 9.9kwh 屋内高所照明 10基	西山公民館	太陽光発電 10Kwh 蓄電池 10kwh	町営体育館	太陽光発電 表示装置 蓄電池 15kwh

クリーンエネルギー導入者への補助

雫石町では太陽光パネルや薪ストーブなどを自宅に設置する町民に対して補助を行っています。29年度は22件の申請がありました。



	平成27年度設置実績	平成28年度設置実績	平成29年度設置実績
太陽光	件数 28件 補助金額 3,243,000円	件数 18件 補助金額 2,002,000円	件数 15件 補助金額 1,800,000円
薪ストーブ	件数 14件 補助金額 1,088,000円	件数 13件 補助金額 1,074,000円	件数 7件 補助金額 626,000円

町民環境講座を開催

町民の環境への意識向上のために町民環境講座を開催しました。平成23年度から開講しており、今年度は17人が参加しました。

-第1回- 町の環境への取り組みについて

環境事業報告や再生可能エネルギーの説明の後、つなぎ温泉地域熱利用施設等を見学しました。



参加者の感想

- 地熱活用できるといいですね。

-第2回- 町のごみ処理の現状とリサイクルについて～廃棄物の分類と一般廃棄物処理～

滝沢清掃センター、雫石リサイクルセンター、盛岡地区衛生処理組合を見学しました。



参加者の感想

- ごみちゃんセンターでのごみ処理は、焼却処分と思っていたが熔融処分である施設を見て、画期的だなと思いました。
- 盛岡地区衛生処理組合は、汚泥処理施設と思われない清掃管理等が行き届いていた施設であった。
- ごみ処理をするにしても、お金がかかり大変である。コストの削減にさらなる取り組みが重要であると認識しました。
- ごみ処理にはお金がかかりますね。

-第3回- 環境保全の取り組みについて

小水力発電所（八幡平市）、風力発電所等（葛巻町）を見学しました。



参加者の感想

- 自然環境、地形を利用してエネルギーの活用は有効であると思います。
- 次世代エネルギーへの取り組みなど、人を呼び込む方策と結びついているところは、良いことと思いました。
- 水力発電のしくみが分かって面白かった。
- 原子力発電に頼らずにエネルギーを得られる取り組み、まさにこれからのこと。バイオマス発電も進歩のための一つの取り組みとして、記憶したいと思います。

-第4回- 企業の環境への取り組みについて

盛岡セイコー(株)、(株)バイオマスパワーしずくいし



参加者の感想

- 敷地をきれいに整備していた。植物を大事にしていた。
- 霰石でも二酸化炭素を出さないエネルギーを使って、発電しているのは地球環境のためにも、とても良い事だと思いました。
- 環境に非常に気を配り、企業努力をしている事がわかりました。
- 安心安全な肥料を作り、発電し、捨てるものを残さないというのは素晴らしいと思いました。



参加者の感想

- 野菜の洗い方やムダなく出来るのが勉強になりました。
- 冷凍ピラフの使い方、柿に豆乳、おいしかったです。
- 野菜の準備で、クズを少なくし、洗い水も最小になる方法。手に入りやすい食材をおいしく食べる調理方法が今後の参考になります。

修了式を終えて～町民環境講座の感想～

- 回数は、少なく参加しましたが、エコのことが勉強になりましたので良かったです。
- 色々な所への見学、なかなか個人では行けない所で楽しみながら出来ました。
- 今年、初めての参加で、雫石について知らないこと、他の自治体の取り組みなど知ることができ、幸いでした。
- 色々、エコの事を考えました。真似できることは、真似したいです。
- 分かりやすく、私でも出来そうな所もあり嬉しかったです。
- 地熱発電所に行って見たいです。

女性団体連絡協議会と環境を考える会を開催

本年度は、岩手県環境生活部資源循環推進課の平船千佳子氏を講師に迎えて「3Rの取り組みについて」～食品ロスを知っていますか？～と題して講演をしていただきました。

町、女性団体連絡協議会、地域コミュニティー組織連絡協議会、業者、町民環境講座から33名の出席がありました。(平成29年12月18日)



女性団体連絡協議会の構成団体
婦人会
J A 女性部
商工会女性部
母子寡婦福祉協議会
交通安全母の会



・・・自分で「気づき」、意識して「行動」することが大切・・・



出席者からの感想

- 賞味期限と消費期限の違いがわかって良かったです。食べきり協力店がある事、「30・10運動」について知って良かったです。
- エコを考えるには小さな力が必要ということが分かりました。
- 教えていただいたことを心して、これからの生活にいかして行きたいと強く思いました。今日は本当にためになることを生活に密着したお話しありがとうございました。
- 大変いいお話でした、家族で進めていきたいです。毎日のごみ出しに気をつけて出したいと思います。

小学生の水生物調査

児童、生徒の環境に関する関心を高めるため、毎年町内河川において水生生物調査を行っています。今年度は2校が実施しました。



雫石町立御明神小学校では、雫石川（竜川）の水生物調査を平成15年から13年間実施しており、自然に親しみながら自然環境保全の大切さを学んでいます。

また、この調査のほか雫石川（竜川）や春木場駅の清掃、学校林保護（植樹等）などの功績により、平成28年度に岩手県から水と緑を守り育てる活動知事感謝状を受賞しています。

参加小学校
御明神小学校
上長山小学校

環境展（しずくいし産業まつり）

10月21、22日に開催されたしずくいし産業まつりで、環境クイズ、御所湖の清流を守るポスター展示などを行いました。



環境クイズ



御所湖の清流
を守るポスター展示



エコロルちゃん来場



教材を使用した環境学習

集団資源回収の奨励

町民、児童の環境意識向上と、資源の有効利用を図るため、町では集団資源回収奨励金を交付するなどごみの資源化を促進しています。



平成29年度の実績	
実施団体数	30 団体
参加人数	約 2,500 人
実施回数計	91 回
奨励金交付額計	3,054,371 円
資源回収量	390,113 kg



ごみ集積所設置への補助

町ではごみ収集時の衛生管理をより良くするために、ごみ集積所を設置、建て替えを行おうとする地区に対して補助を行っています。



平成29年度の実績	
設置件数	1件
補助金交付額計	71,680円

生ごみ処理機等への補助

町ではごみの減量化を促進するために、家庭用の生ごみ処理機を購入した方を対象に補助を行っています。



	平成29年度設置実績
電動式生ごみ処理機	件数 1件 補助金額 20,000円
生ごみ処理容器 (コンポスト)	件数 4件 補助金額 9,000円

御所湖の清掃活動

6月4日、10月1日に御所湖周辺の統一清掃が開催されました。今年は、春約800名、秋約600名、計約1,400名が参加しました。

清掃活動の様子



参加団体	
安庭白鳥の会	駅前子供会
御所湖・町場園地を活用しよう会	黒沢川子供会
雫石川漁業協同組合	湖水会
天寿会	雫石町婦人会
長根子供会	結っこの会
元御所五月会	
その他、盛岡11団体	

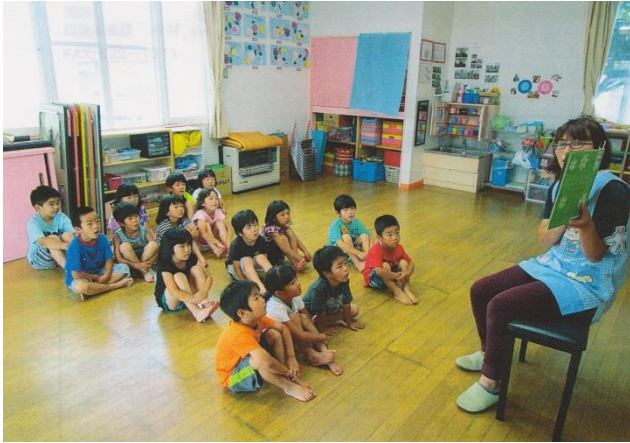
御所湖清掃範囲



●雫石町担当地区 ●盛岡市担当地区

保育施設での環境学習

子どもたちが環境への興味を持ってもらうきっかけ作りとして、絵本や紙芝居を使った環境学習を行いました。



参加保育施設	
御明神保育所	西根保育所
橋場へき地保育所	大村へき地保育所
七ツ森保育所	御所保育園
西山保育園	雫石保育園



図書館環境企画展

6月の環境月間では、図書館で環境に関する本を展示しました。



小学生の環境学習

町内の小学校では、環境学習の一環として栗石リサイクルセンターと滝沢市のごみちゃんセンターの見学をしています。



見学を行った学校
七ツ森小学校
下長山小学校
御明神小学校
栗石小学校

中学生の国道清掃

雫石中学校3年生が毎年国道46号の清掃活動を行っています。(5月30日)



花と緑のまちづくり

住民が主体となった地域の特性を生かした景観づくりが進められ、花と緑の潤いのある空間が形成されました。(国道46号のフラワーロード植栽ほか)



資源回収拠点の設置

資源を無駄にしないため、町では使用済み食用油と古着の拠点回収を行っています。



古着回収量	
平成27年度	2,280 kg
平成28年度	2,280 kg
平成29年度	1,930 kg

《回収ボックス設置場所》

- 雫石公民館 御所公民館
- 御明神公民館 西山公民館
- 雫石町役場 しずく×CAN



使用済み食用油回収量	
平成27年度	1,939 ㍓
平成28年度	2,159 ㍓
平成29年度	2,241 ㍓

《使用済み食用油拠点回収場所》

- 雫石町役場駐輪場 雫石町健康センター
- 雫石公民館 福祉作業所かし和の郷
- ジョイス雫石店 ビッグハウス雫石店
- 御所公民館 エコープ御所店
- 鶯宿温泉観光協会 高橋酒店
- 西山公民館 なかゆ食品
- プチマート井上 御明神公民館
- セツ森もりもりクラブ



電気自動車充電器の維持管理

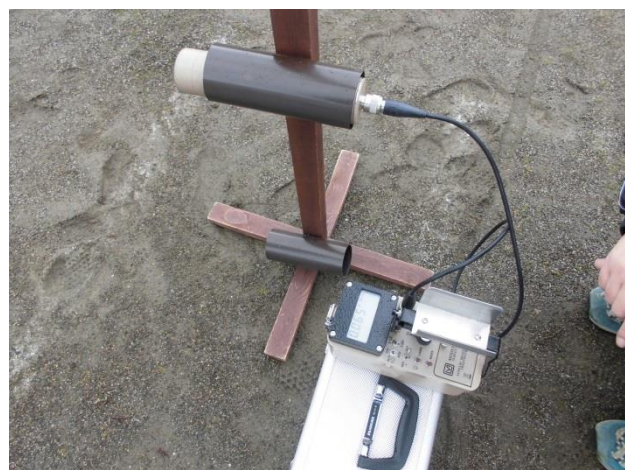
道の駅雫石あねっこ駐車場には電気自動車用急速充電器 1 台を維持管理しており、町内の宿泊施設などにも設置されています。



放射線量・放射性物質の測定

町では主に食品の放射性物質濃度の測定を無料で行っています。平成 29 年度は 354 件の測定を行い、国が定める基準値を超えるものはありませんでした。

また、年に 2 回主要公共施設の放射線量の測定を行っています。測定の結果、国が定める基準値を超える場所はありませんでした。



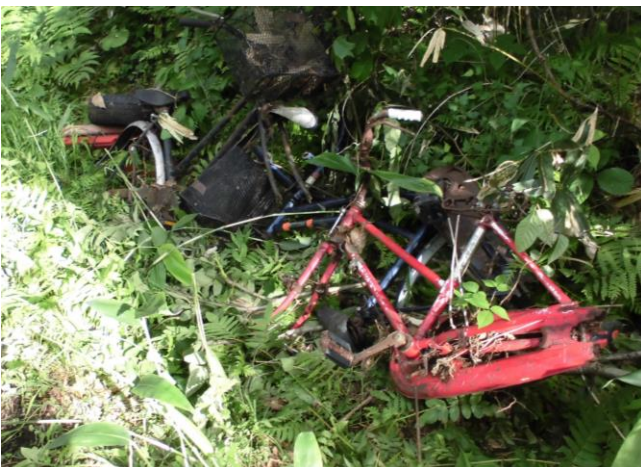
油漏れ事故の対応

油漏れが発生した場合はすぐに現場に向かい、特殊な吸収材、中和剤を使って汚染拡大防止に努めています。



不法投棄

毎年、町内で不法投棄が発生しております。町では不法投棄監視員によるパトロールなどの対策をしています。



狂犬病予防集合注射

毎年5月に町内各地点で犬の狂犬病予防注射を行っており、今年度は約366頭に予防注射を行いました。

4月下旬に町内の飼い主さんへお知らせの色付きハガキを送るなど、確実に接種していただくようお願いしています。



オオハンゴンソウの駆除

環境省、網張ビジターセンター、雫石町が共同で十和田八幡平国立公園岩手地域における特定外来生物オオハンゴンソウの駆除を実施しました。

(滝ノ上地区 平成29年8月18日 奥産道 平成29年8月22日)



平成 29 年度 環境事業報告書
環境を守り育てるまち しずくいし